

新聞に興味を持たせ、読解力を高める指導の在り方

～ 教科の連携を通して ～

都城市立志和池中学校

教諭 川添 豊

I 主題設定の理由

現行の学習指導要領では生きる力の育成、とりわけ子どもたちに「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、よりよく問題を解決する力を育成すること」が求められている。インターネットが急速に普及した現在、若者たちの活字離れが指摘されている。子どもたちを取り巻く情報環境は、携帯電話の普及によりめざましく変化しており、教育においてもきわめて憂慮される状況にある。今、若者たちは情報過多の波の中で何に依拠して生きていったらよいか、情報をいかに選択し正しく判断したらよいか、その判断基準が見つからず迷いの中にいるようにさえ見受けられる。また、子どもたちがうまく人間関係を結べないとか、コミュニケーション能力が低下している等の問題も提起されている。高度情報化の時代の中で次代を担う青少年の育成にあたって、いかにメディアリテラシーを育成したらよいかが喫緊の課題となっている。

志和池中学校は、自然環境や学習環境に恵まれた全校生徒約 200 名の小規模校である。今年で NIE 推進校 2 年目を迎えたが、昨年度は、主として、社会科と特別活動において研究実践をすすめ、新聞の見方や感想のまとめ方が身に付くなど一定の成果をあげることができた。しかし、NIE の取り組みがごく一部の教科や活動に限られており、学校全体に NIE の取組が広がりを見せているという実感はない。

年度は 1 年生を対象に、より多くの教科で N I E に関わりながら、新聞の基本的な見方を身に付け、新聞をより身近に感じられよう研究実践をすすめた。

II 研究の実際

1 社会科における取り組み

日頃から社会科においては、世の中の出来事に興味・関心をもたせるために、授業の最初に新聞記事を活用してきた。大きな出来事や事件があるたびに新聞記事を印刷し解説してきたが、なかなか自分から新聞に目を通し、じっくりと記事を読むというところまでは至っていなかった。そこで、社会科では何とか新聞に興味・関心をもたせるために、生徒の誕生日の新聞の第 1 面を準備し、自分が生まれた日にはどんな出来事が起こっていたのかを新聞から調べる取り組みを行った。大まかな授業の流れは以下の通りである。

① VTR 視聴

新聞の紙面構成（作り手の意図について）

② 新聞記事選び

自分の誕生日の新聞の 1 面から興味のある新聞記事を選ぶ。

③ 選んだ新聞記事についてワークシートにまとめる。

- ・ 見出しを書き写そう
- ・ 内容をまとめよう
- ・ 自分の考えを書こう

④ 選んだ新聞記事を発表しよう

⑤ 生まれた年の10大ニュース



新聞の1面から新聞記事を選ぶ時に、なかなか興味を持てる新聞記事がなかったり、記事に出てくる語句が分からなかったり、選ぶのにかなり個人差が出てきた。しかし、自分が生まれた日の出来事ということで楽しそうに活動していたところから、少なからず興

味を持つことはできたのではないかと
思う。新聞記事を選んだ理由として、
次のような理由が挙げられた。

- ・ 大臣をやっていた人が、無償でマンションを提供してもらおうという不正をしていたから。今も大臣で不正をしている人がいる。
- ・ 絵を見たときにすごいと思ったから。
- ・ 初めて聞く名前で「どんな事件だろう」と思って選んだ。
- ・ はじめて、「平成」という年号を決めた人を知ったから
- ・ 私が生まれた時に、薬害エイズに関係した「ミドリ十字」という会社の虚偽報告があったことが何かすごくショックでした。

堺城市立志和城中学校

	新聞記事に興味を持とう!	1年()組(46)番 (皆元 遥香)
1 あなたの誕生日の新聞記事の1面をみて、興味のある新聞記事を1つ選ぼう。 (新聞の第1面はその日の新聞の1面の記事がのせられます)		
2 その新聞記事の見出しを書き写そう(記事をよく見て、文字を間違えないように) (見出しをみれば、その記事がどんな記事かがわかります)		
マンション無償提供 2室家賃相当 3500万円 山口氏側に高橋 容疑者		
3 その新聞記事の内容を大まかにまとめよう(どんな内容の記事か)		
山口氏の突然の訴えが起訴された。 元東京協和信組理事長の高橋 容疑者が集約のゴルフ場運営会社が所有している東京・こがし町のマンション2室を山口敏夫元首相に無償提供、これまでの家賃相当額が3500万円に上ることが27日に内部文書などで分かった。		
4 その記事のどこにどこに興味を持ったか。(あなたの考え、自分のことばで書こう)		
大臣をやっていた人が、無償でマンションを提供してもらおうという不正をしているコ。今も大臣とかで不正をやっている人がいるから……。		

NIEとは… 学校などで新聞を教材として活用する活動のことを指します。

(生徒のワークシート記入例)

2 国語科における取り組み

社会科においては、新聞に興味・関心を持たせることを主なねらいとしたため、新聞記事の読み取りは不十分であった。そこで国語科に依頼し、新聞記事をどのように要約すればよいかを学習した。大まかな授業の流れは以下の通りである。

① 社会科で使ったワークシートを活用しながら、新聞記事の要約の仕方について説明を聞く。(土佐塾中の例を参考にして)

② 共通の新聞記事を使い、要約の練習をする。

- ・ 見出しを書き写す。
- ・ 記事の内容を要約する。(5W1Hを意識しながら)
- ・ その記事に対する自分の感想・意見をまとめる。

③ 発表を聞きながら、要約の要点について振り返る。

新聞記事の要約の仕方については、昨年のNIE全国大会高知大会で公開授業を行った土佐塾中学校の資料を参考に説明し、共通の新聞記事の要約を2回行った。(参考資料)

個人差はあるものの、1回目はなかなかうまくできなかつたが、2回目になるとポイントを押さえながら要約でき、その記事に対する自分の感想・意見も質が高まったようである。

新聞記事を使って学習しよう。

1年 2組 3番 名前(橋本 晴香)

今日のテーマ

「みんなで要約の練習!!」

共通の記事を使って、一緒に練習をしよう!

① この記事の見出しを書き写す。正しいに正確に、小さな見出しも可能な限り写そう。
見出しは、記事の内容を替えてくれる鍵。～どんなことが書いてある記事か～

マツリ方指導
小学校で新型インフルエンザ

② 記事の内容を要約する。(5W1Hを意識しながら)
*大まかに記事の内容をまとめる。

5W1Hとは・・・	昨年、12月に東京都荒川区(むらし)小学校
When いつ	で、伊藤英夫校長が マツリ(1)集団
Where どこで	校舎の1階に指導した。新型インフルエンザの対策訓
Who だれが	練だ。
What なにを	しっかりと書くことと指導を受けた子供たちは、
Why なぜ	マツリの1階の1階の1階を指導した。
How どのように	どうした

③ その記事に対する自分の感想・意見をまとめる。
自分の考えや意見をしっかりと持つこと。
こういふことが、だと思ふ。とか、具体的な内容を考え書くこと。
*経路は自分で書くこと。
*書き言葉を意識して書くこと。正しい日本語で表現すること。(話し言葉やメール言葉は使わない。)
*文末表現を工夫すること。「・・・すといふこと」「・・・かといふこと」などありきたりな言葉を使わないように努力しよう。

●私にこの記事を読んで、この学校でも取り組めばよいなあと、思いました。マツリを善用するということだけでインフルエンザを防止することができるので、ぜひ実行したいと思いました。1人1人が心がけ、この学校での流行を防げればよいなと思います。

(生徒のワークシート記入例)

上に示したワークシートは、東京の小学校で、新型インフルエンザの対策訓練としてマスクをつけて下校した記事を扱ったもので、生徒の意見・感想として次のような意見があった。

私はこの記事を読んで、しっかりインフルエンザ対策をしないといけないなと思いました。新型インフルエンザに関する正しい知識の普及とマニュアルの実効性確認という目的を持って取り組んでいて、自分はしっかりできているかと反省しました。今、保体委員がインフルエンザ予防のために仕事をしています。しっかりと保体委員が呼びかけている活動に取り組み一人一人が心がけていけないといけないと思いました。

3 その後の取り組みについて

社会科と国語科の取り組みをふまえた上で、その後、新聞の読み取りを朝自習の時間（「志学の時間」）に2週間にわたって行った。

また、志和池タイム（「総合的な学習の時間」）では、「福祉」を大きなテーマに掲げ、体験活動や調査活動を実施してきたが、そのまとめを新聞記事を活用して作成し、発表する班も見られた。社会科においても、宮崎県の調査活動を壁新聞にまとめたが、多少なりとも新聞を活用した成果が現れていた。

○ 1年生を対象とした初歩的な取組ではあったが、社会科と国語科が連携して授業を実践することで、新聞に対する興味・関心を高め、じっくりと記事を読んで要約し、自分の意見を書くことで読解力を高める基礎ができた。

○ 社会科、国語科、総合的な学習の時間で、NIE活動を行うことができた。

● 1年生のみの実践にとどまり、他学年で新聞を活用しなかったわけではないが、計画的な取り組みはできなかった。

● 年間を通して、NIE活動の時間を確保することが難しかった。

III 実践の感想と今後の課題

推進校2年目として、研究に取り組んできたが、その成果と課題は次の通りである。

（参考資料）『新聞ノート』を究める

（高知県土佐塾中学校）

- | |
|--|
| <p>① 新聞社名・発行年月日を明記する。</p> <p>② 見出しを写す。→ 書写力</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大きな見出しだけでなく、小さな見出しも可能な限り写してみよう。・ 丁寧に正確に写すこと。 <p>③ 記事の内容を要約する。→ 要約力</p> <ul style="list-style-type: none">・ 5W1Hを意識して書くこと。
(いつ, だれが, どこで, 何を, どうした, なぜ, どのように)
when who where what why how・ 記事をそのまま写してはいけない。 <p>④ 意見・感想を書く。→ 表現力</p> <ul style="list-style-type: none">・ 最低5行以上は書くこと。・ 「書きことば」を意識すること。「しゃべりことば, メールことば」を使わない。自分の考えを読み手に伝えるためには、やはり正しい日本語で表現することが大切。・ 文末表現を工夫すること。「…すごいと思った。」「…かわいそうだ。」など、ありきたりな表現をなるべく使わないように努力しよう。 |
|--|